

施策番号	1115		
施策名	障害のあるひとの人権の尊重		
概要	障害のあるひとに対する物理的、制度的、心理的障害がなく、障害のあるひともないひとと同じ生活を送ることができる社会を構築する。		
担当局	保健福祉局	共管局	文化市民局
上位政策	111 ひとりひとりが個人として厚く尊重される		

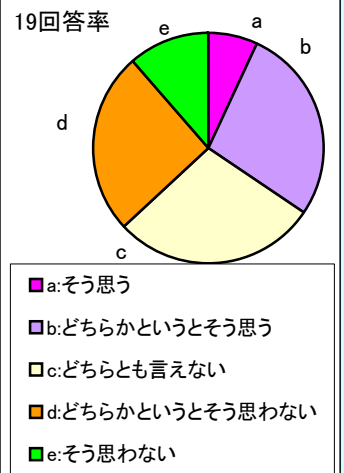
施策の評価

1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 障害者社会参加促進事業参加者数（人）	c	e	11247	11704	12659	92.5%	d
2 ところのふれあい交流サロンの設置数（箇所）	-	-	13	13	3	0.0%	e
3 障害のあるひとの通所授産施設等の施設数（人分）	d	a	1290	1360	51	137.3%	a
4 精神に障害があるひとの障害者手帳取得率（%）	-	-	-	46.5	-	-	-
5-	-	-	-	-	-	-	-
6-	-	-	-	-	-	-	-
7-	-	-	-	-	-	-	-
8-	-	-	-	-	-	-	-
9-	-	-	-	-	-	-	-
10-	-	-	-	-	-	-	-
	C	C	客観指標総合評価				d

2 市民生活実感評価

設問	障害のある人が、様々な面で暮らしやすいまちになってきている。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	50	9.6%	34	9.6%	32	6.9%
b: どちらかというと思う	144	27.5%	156	29.3%	127	27.4%
c: どちらとも言えない	122	23.3%	143	26.9%	133	28.7%
d: どちらかというと思わない	139	26.6%	135	25.4%	118	25.5%
e: そう思わない	68	13.0%	64	12.0%	53	11.4%
有効回答数	523		532		463	
市民生活実感評価	C		C		C	



* この評価は、毎年5月頃実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	c	c	d
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	C	C	C
重み付け		(理由)	
<input type="checkbox"/> 客観指標	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	この施策の目的を達成するためには、すべての市民がノーマライゼーションの社会を実感できることが必要であり、その達成度を測る指標とする市民生活実感評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

市民生活実感評価については、昨年度に引き続きc評価となっている。客観指標評価については、障害者社会参加促進事業参加者数が前回から増加に転じて評価を上げたものの、こころのふれあい交流サロンの設置数が目標値を下回り、全体としての評価はC評価となった。依然として、障害者に対する理解や関心は低く、障害者は啓発の推進を求めており、幅広い市民参加による啓発活動を進め、市民の障害に対する理解と社会参加促進事業など、関心をより一層深めていく必要がある。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
	1 障害者理解促進事業	1,779	1,779	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部障害企画課
	2 障害者権利擁護推進事業	8,062	8,403	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部障害企画課・障害保健福祉課
(従)	3 精神障害者退院促進支援事業	15,019	15,019	現状のまま継続等	保健福祉局こころの健康増進センター
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	合計	24,859	25,200		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	9,840 (15,019)	10,181 (15,019)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1115	障害のあるひとの人権の尊重					
指標名	障害者社会参加促進事業参加者数（人）						
担当課	障害保健福祉課		連絡先	222-4161			
1 指標の説明							
障害者社会参加促進事業に参加した人数							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
障害のあるひとの社会参加状況を示す指標			当該事業の参加者数				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度	
数値	11247	11704	457人増	12659	過去5年間の最高値	92.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	-	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	-	-	-	-	-	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去5年間の上中間と平均値の間 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：過去5年間の下中間以下			参加者数は毎年変動するものであるが、過去5年間の数値をもとに、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値 12,659人（平成14年度） 平均値 12,118人 最低値 11,247人（平成17年度）		17	18	19
					c	e	d

指標名	こころのふれあい交流サロンの設置数（箇所）						
担当課	障害保健福祉課		連絡先	222-4161			
1 指標の説明							
こころのふれあい交流サロンの設置数							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
精神に障害のあるひとの社会参加の場の確保状況を示す指標			設置数 出典：「京都市障害者施策推進プラン」進捗状況				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度	
数値	13	13	0箇所増	3	中長期目標を達成するために必要な年間増加数を3箇所とした。	0.0%	
	全国順位	中長期目標			備考	目標値及び実績数値には、精神障害者地域生活支援センターを含む。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	21	19年度	61.90%	「京都市障害者施策推進プラン」に掲示		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
目標値に対する達成度が a：目標値を超えて4箇所以上の増加 b：目標値達成 c：目標値未達の2箇所の増加 d：目標値未達の1箇所の増加 e：現状のまま			プランでは、プラン策定時（14年度完了時）の設置数と目標数との差11箇所を、5年間で整備することとしており、そのために必要な年間増加数3箇所を目標値（b評価）とし、目標値を超える場合をa、2箇所増をc、1箇所増をd、現状維持をeと設定した。		17	18	19
					-	-	e

施策名	1115	障害のあるひとの人権の尊重
-----	------	---------------

指標名	障害のあるひとの通所授産施設等の施設数（人分）
-----	-------------------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

通所授産施設・福祉工場の利用可能人数

2 指標の意味

障害のあるひとの社会参加，働く機会の確保状況を示す指標

3 算出方法・出典等

当該施設の設置状況

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	1290	1360	70人分増	51	プランでは，プラン策定時（14年度完了時）の設置数と目標数との差255人分を，5年間で整備することとしていることから，必要な年間増加数を51人分とした。	137.3%

数値	全国順位	中長期目標			備考
	数値	目標年次	達成度	根拠	
		1371人分	19年度	99.20%	-
		「京都市障害者施策推進プラン」数値目標			

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：70%以上100%未満
c：30%以上70%未満
d：10%以上30%未満
e：10%未満

6 基準説明

単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし，以下を4段階に基準設定した。

7 評価結果

17	18	19
d	a	a

指標名	精神に障害があるひとの障害者手帳取得率（%）
-----	------------------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

精神障害者保健福祉手帳の取得率

2 指標の意味

精神障害のあるひとの社会復帰及び社会参加の促進を図る指標

3 算出方法・出典等

自立支援医療（精神）受給者等に占める精神障害者保健福祉手帳の取得者の割合

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	年度	年度		数値	根拠	達成度
数値	-	46.5	-	-	-	-

数値	全国順位	中長期目標			備考
	数値	目標年次	達成度	根拠	
		50.00%	22年度	93.00%	京都市基本計画に掲示

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし，以下を4段階に基準設定した。
本年度は指標設定初年度のため評価せず，平成20年度以降評価する。

7 評価結果

17	18	19
-	-	-